

第1回表示セミナー結果報告

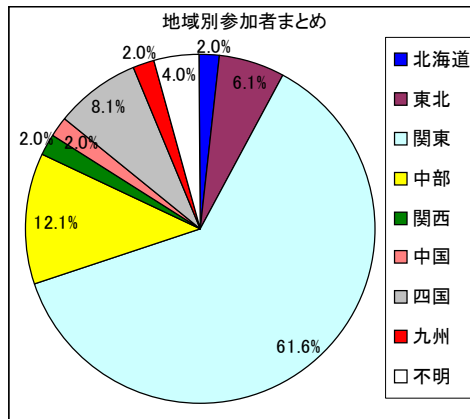
日時：2010年2月26日（金）13:30～17:00

会場：ベルサール九段 Room4

主催：社団法人 日本冷凍食品協会

1. 参加者

- ・合計 106名（主催者を含め117名）内訳 男性：66名（62.3%）、女性：40名（37.7%）
- ・参加対象者は協会会員企業で表示の作成若しくは確認担当者。
- ・アンケート提出者99名（回収率93.4%）
男性：55名（55.6%）、女性：40名（40.4%）、不明：4名（4.0%）
- ・都道府県別の参加者数は下記の通りです。関東が多いですが、北海道、九州からも参加頂きました。

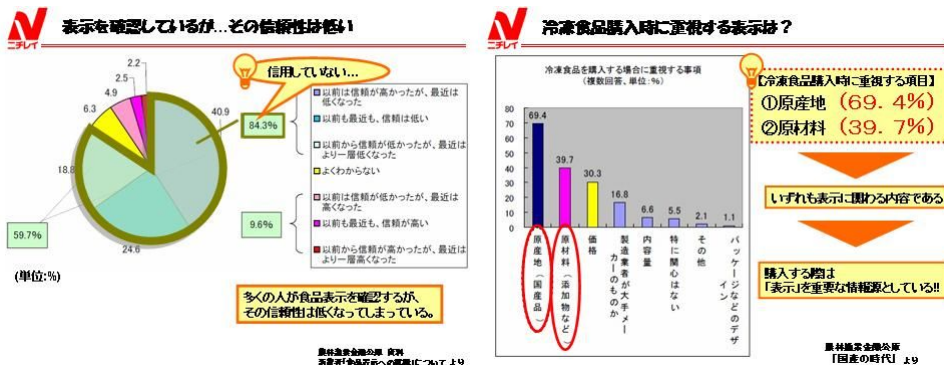


2. 講義概要とプログラム

- ・「品質情報管理に関する取組事例」ではスライド、「冷凍食品の表示ハンドブック」（原料原産地表示）と「冷凍食品表示の事例・問合せの多い表示 Q&A」では配布資料を中心にスライドで補足しながら講義を行いました。

1) 基調講演「品質情報管理に関する取組事例」

株式会社ニチレイフーズ 品質保証部部长 片山 博視



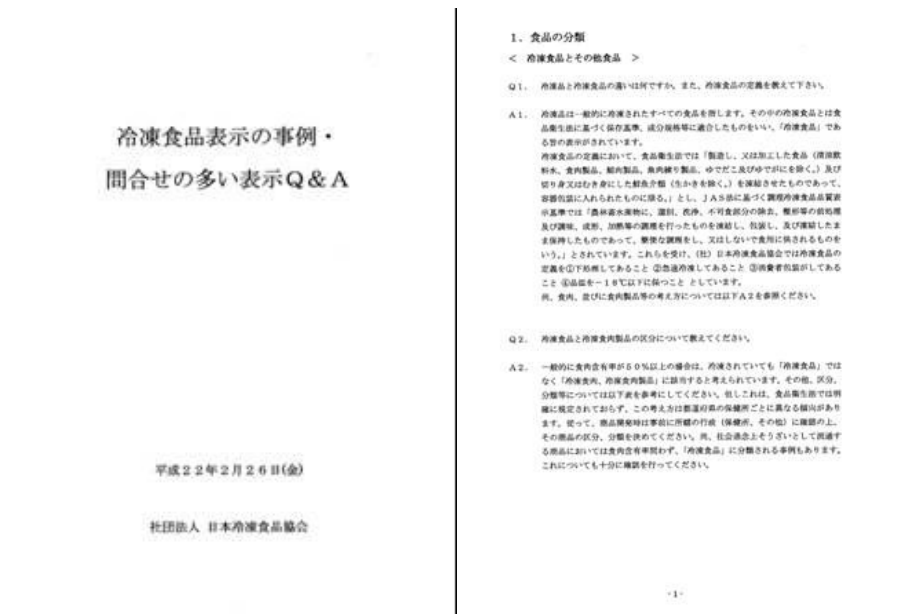
2) 原料原産地表示のポイント「冷凍食品の表示ハンドブック」の説明

社団法人日本冷凍食品協会 品質・技術部部長 山本 健



3) 「冷凍食品表示の事例・問合せの多い表示 Q&A」の説明

財団法人日本冷凍食品検査協会 東京検査所 検査課課長 佐川 一史



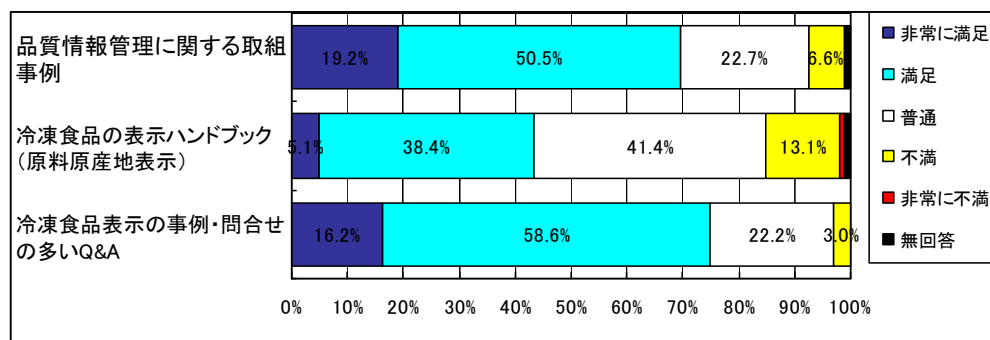
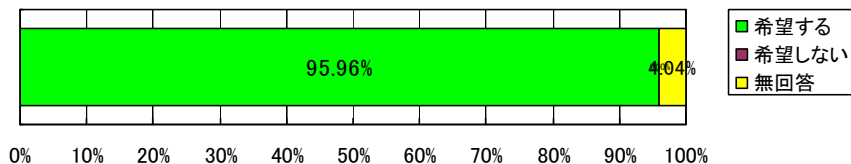
・質疑の時間が短い事から、会場で出来なかった質問は後述のアンケートに記入してもらいました。回答は平成 21 年度中には直接連絡をさせていただきます。

3. アンケート結果

・表示セミナーでは通常、一括表示を中心に法律による説明を行っていましたが、新しい試みとして今回のセミナーでは冷凍食品に特化して、問合せの多い質問を Q&A の形式でより実践的にまとめて理解が深まる様に工夫しました。その為、今後も同様のセミナーを行

う必要があるか、プログラムの各内容や今後の講習会について参加者にアンケートをお願いしました。

- 結果は一部未記載を除き、次回も参加したいとの意見がありました。内容については、1点：非常に満足、2点：満足、3点：普通、4点：不満、5点：非常に不満の5段階評価を行った結果、「品質情報管理に関する取組事例」、「冷凍食品の表示ハンドブック」（原料原産地表示）、「冷凍食品表示の事例・問合せの多い表示 Q&A」の順で 2.17、2.66、2.12 点と比較的満足頂ける結果となりました。結果は下記をご覧ください。



- 「品質情報管理に関する取組事例」に関しては、他社の取組として参考になったとの意見を多数頂き、加えて中小企業としてのギャップ、商品情報の共通化に関する意見もありました。
- 「冷凍食品の表示ハンドブック」（原料原産地表示）では、ハンドブックの内容が判り易いという意見と、時間が短かった為、もう少し詳しい説明が聞きたかったとの意見もありました。
- 「冷凍食品表示の事例・問合せの多い表示 Q&A」でも判り易く参考になったとの多くの意見を頂きましたが、やはり時間が短過ぎたので全ての内容を説明してもらいたかったという意見も数多くありました。
- 表示セミナーとして聞きたい内容、協会に望むその他のセミナーを含め、貴重なご意見、ご要望が多数ありましたので、次回表示セミナーを行う際に参考とさせて頂くと共に、次年度以降、協会が主催するセミナーや講習会の開催に反映させます。
- 表示セミナーに関しては、Q&A 形式の具体的な説明が好評でしたので、時間と内容を充実させて形で、関西にて行いたいと考えております。

以上